

# 宮城県感染症発生動向調査情報

平成27年10月8日発行

－ 2015.9.28 ～ 10.4 ・ 第40週 －

## 1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							仙台市	宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第37週	第38週	第39週	第40週
水痘	2 0.40	2 0.20	6 1.20		1 0.33	1 0.20		8 0.30	20 0.34	1,202				
流行性耳下腺炎			1 0.20					1 0.04	2 0.03	287				
百日咳									0 0.00	1				
感染性胃腸炎	21 4.20	15 1.50	2 0.40	7 3.50	11 3.67	4 0.80	1 0.50	69 2.56	130 2.20	15,338	○	○	○	◎
手足口病	45 9.00	65 6.50	32 6.40	9 4.50	13 4.33	28 5.60	3 1.50	179 6.63	374 6.34	10,164	◎	◎	◎	◎
伝染性紅斑		2 0.20	2 0.40	1 0.50				2 0.07	7 0.12	1,527				
突発性発しん	4 0.80	2 0.20	3 0.60		2 0.67	2 0.40	2 1.00	17 0.63	32 0.54	1,465	○	レ	○	○
ヘルパンギーナ	1 0.20	7 0.70	2 0.40		3 1.00			9 0.33	22 0.37	1,862	◎	◎	○	レ
インフルエンザ									0 0.00	19,606				
咽頭結膜熱				1 0.50	1 0.33	1 0.20		1 0.04	4 0.07	1,019				
流行性角結膜炎	1 1.00							1 0.17	3 0.25	151				
急性出血性結膜炎									0 0.00	3				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	50 10.00	8 0.80	6 1.20	1 0.50	2 0.67	17 3.40		37 1.37	121 2.05	5,615	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)								1 0.2	1 0.08	4				
無菌性髄膜炎									0 0.00	4				
マイコプラズマ肺炎				3 3.00				7 7.00	3.00 0.60	13 1.08	286			
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	1				
RSウイルス感染症	12 2.40	10 1.00		10 5.00	4 1.33	9 1.80	1 0.50	49 1.81	95 1.61	762	○	○	○	○
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	77				
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	2	3					2	6					
	川崎病													
	不明発疹症								1					

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意  
○: 発生または流行について、今後の情報に留意  
レ: 発生が少なくなっている傾向

## 2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核

石巻管内 女性1名  
塩釜管内 男性1名  
大崎管内 男性1名、女性1名(第39週)、女性1名  
栗原管内 男性1名(第39週)  
登米管内 男性1名、女性1名  
仙台南管内 男性3名、女性1名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O26)

塩釜管内 女児\*1名  
大崎管内 男児\*1名、女児\*2名  
登米管内 男性1名(第39週)  
腸管出血性大腸菌感染症(O157)  
仙台南管内 男性1名  
腸管出血性大腸菌感染症(O55)  
大崎管内 女性1名  
腸管出血性大腸菌感染症(O121)  
登米管内 男児\*1名  
腸管出血性大腸菌感染症(OUT)  
気仙沼管内 男性1名

4類感染症: レジオネラ症(肺炎型)

塩釜管内 男性1名

5類感染症: 梅毒

大崎管内 男性1名(第39週)

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 *Enterobacter aerogenes*

仙台南管内 男性1名(第39週)

※男児、女児は6歳未満

## 3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

**[定点把握対象疾患]**

[手足口病]

仙南、塩釜、大崎、栗原、登米、石巻、仙台南管内で警報継続中

[A群溶血性レンサ球菌感染症]

仙南管内で警報値を超えた

## 【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

腸管出血性大腸菌感染症患者より

大崎管内のO26関連 第39週採取分 O26 2件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定	中 間 報 告	
	第37週採取分 (9.7～9.13)	第38週採取分 (9.14～9.20)	第39週採取分 (9.21～9.27)
RSウイルス	7件	4件	4件
サイトメガロウイルス	2件	1件	0件
パラインフルエンザウイルス1型	2件	2件	0件
パラインフルエンザウイルス4型	1件	1件	1件

## 4. 今週のコメント

### [A群溶血性レンサ球菌感染症]

今週、県内全域で患者数が増加傾向であり、仙南管内では警報値を超えました。A群溶血性レンサ球菌感染症は高熱・咽頭痛・嘔吐を主症状とする上気道感染症で、ヒトとヒトの接触機会に罹患しやすい傾向があるため、帰宅時のうがい・手洗い等を徹底し感染防止に努めてください。

### [腸管出血性大腸菌感染症]

夏季より継続して、患者報告及び病原体が検出されている状況です。例年に比べ、流行が長期化していると考えられます。腸管出血性大腸菌感染症は小児・高齢者では重症化することがありますので、よく加熱したものを喫食するなど食品を介した感染にも注意が必要です。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

